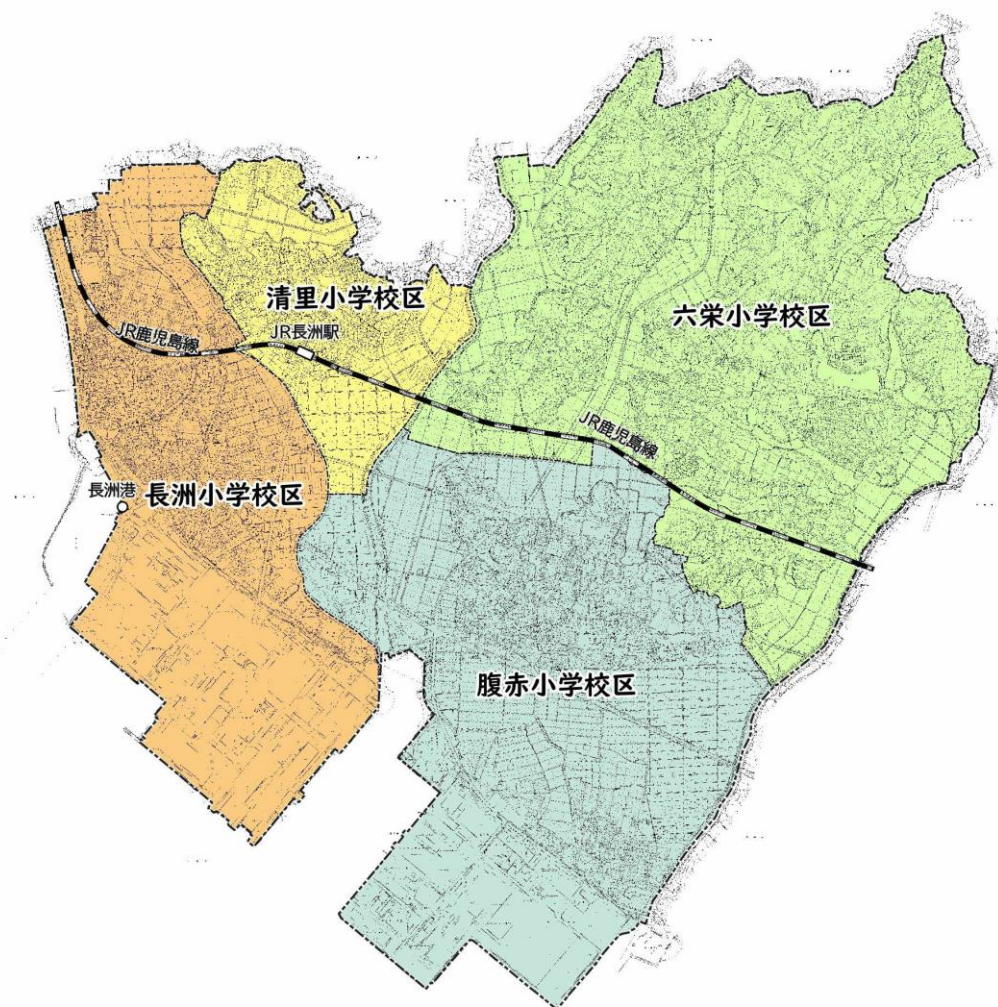


## 第5章 地域別構想

本章では、第3章「まちづくりの基本方針」第4章「まちづくりの部門別方針」で示す全体構想を各地域で詳細に表し、地域づくりの目標と方針を示します。

地域は、町内の小学校区で以下の4地域に区切ります。



## 5-1. 腹赤小学校区

### (1) 地域の概況

#### ①位置・構成

- 本地域は、町の南東部に位置し、中心部には住宅街が広がっています。沿岸部には物流関連をはじめとする工場が立地しており、そこに隣接する形で住宅街も形成されています。



#### ②人口

- 令和5年3月時点での人口は3,751人となり、町全体(15,414人)の24.3%を占めています。また、高齢者(65歳以上)の割合は35.6%となっています。

#### ③土地利用

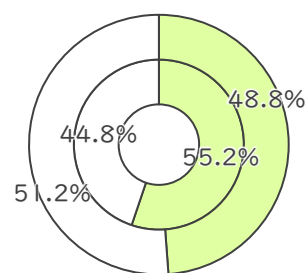
- 本地域の中心部は、公益施設用地や住宅用地で市街地が形成されています。地域の南側には農地、沿岸部には工業用地が集積しており、都市的土地利用が51.2%、自然的土地利用が48.8%となっています。

【人口など】

	人口 (人)	世帯 (世帯)	1世帯人数 (人/世帯)	高齢化率 (%)
平成31年	4,019	1,865	2.15	31.8
令和2年	3,961	1,862	2.13	32.9
令和3年	3,868	1,811	2.14	34.2
令和4年	3,757	1,744	2.15	36.1
令和5年	3,751	1,785	2.10	35.6

【土地利用(令和4年)】

内側：町全域 外側：地域



■ 自然的土地利用  
□ 都市的土地利用

出典：長洲町住民基本台帳(各年3月末日時点)、都市計画基礎調査(令和4年)

#### ④都市施設の整備状況

- 主要な道路として、地域を横断する都市計画道路長洲玉名線(国道501号)と県道長洲玉名線が通っています。また、都市計画道路赤田上沖洲線は荒尾市につながる六栄小学校区の区間の整備が進められていますが、都市計画道路長洲岱明線は玉名市につながる区間が未整備となっています。
- 都市計画公園は、腹赤児童公園や清源寺児童公園、上沖洲児童公園が整備されています。また、その他の公園として総合スポーツセンターや名石浜緑地公園といった大規模な公園・緑地が整備されています。

⑤地域資源など

- 総合スポーツセンターは、日常的なスポーツや健康づくりの場として多くの町民に利用されています。
- 立花宗茂公夫人の墓（ぼたもちさん）をはじめ、清源寺天満宮の神楽や腹赤天満宮の神楽・楽など7つの町指定文化財があります。



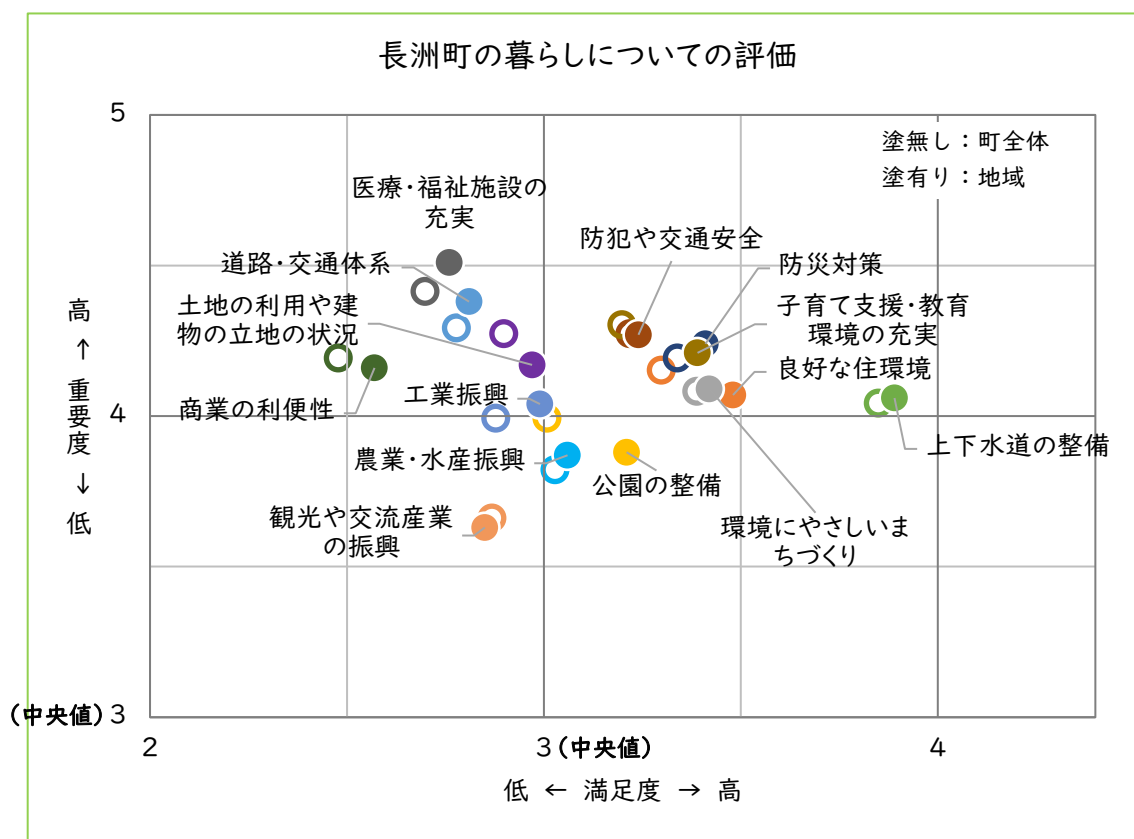
総合スポーツセンター



ゴライアスクレーン

⑥住民意向

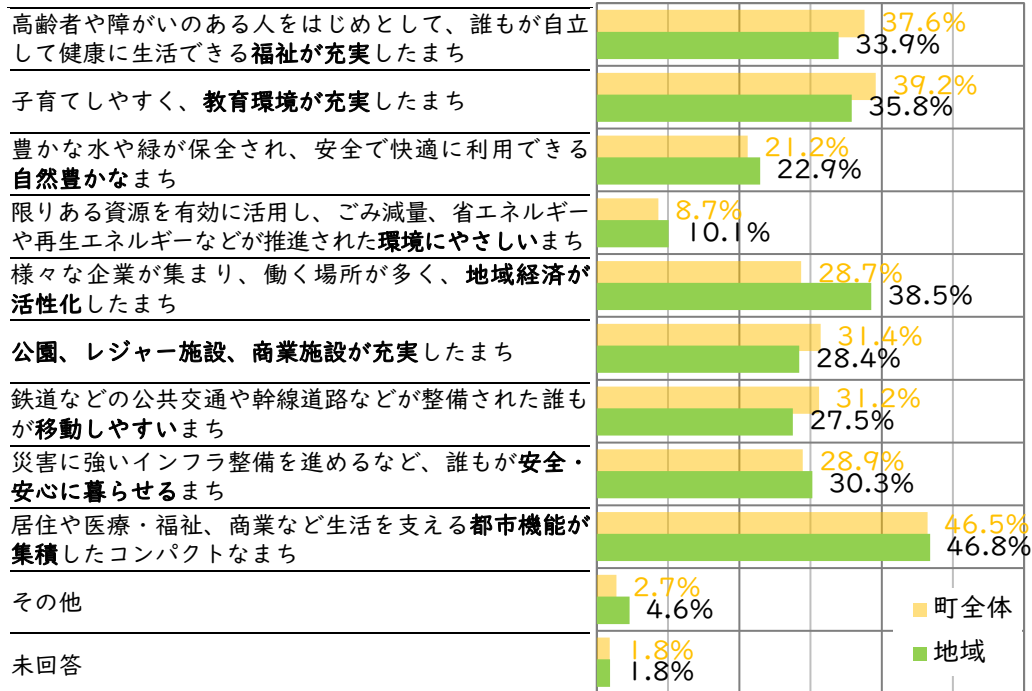
《アンケート調査》



- 腹赤小学校区では、全体的に満足度が高くなっており、特に「公園の整備」の満足度が他の地域に比べて高くなっています。
- 「商業の利便性」「医療・福祉施設の充実」「道路・交通体系」が、満足度が低く、重要度の高い項目になっています。

## 将来像(20年後)として望ましいイメージ(3つ以内で選択)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



- 腹赤小学校区では、「居住や医療・福祉、商業など生活を支える都市機能が集積したコンパクトなまち」が最も多く、次いで「様々な企業が集まり、働く場所が多く、地域経済が活性化したまち」「子育てしやすく、教育環境が充実したまち」の順に多くなっています。

## 《地域別ワークショップ》(主なご意見)

### 地域の魅力と課題

#### 魅力

- ・夜間でも明るい
- ・交通渋滞がない
- ・災害が少ない
- ・農業者、農地が多い
- ・県外等へアクセスしやすい
- ・公園が多く遊びやすい

#### 課題

- ・道が狭い
- ・交通手段が少ない
- ・宿泊施設が少ない
- ・店、飲食店が少ない
- ・空き家、空き地が多い
- ・賃貸住宅が少ない

### 地域が目指すまちづくり像

#### コミュニティの持続！垣根をこえた語り合い交流

- ・コミュニティが衰退し、多世代の交流が少なくなっていることが、まちづくりが進まない要因のひとつ。
- ・これから取り組むことや既に取り組んだことをその目的も含めて、様々な人に広報していくことが重要。
- ・コミュニティを継続していくためには、世代や職業の垣根をこえた交流の場が必要。

## (2) 地域づくりの目標

### 垣根をこえた語り合いと交流によって コミュニティが持続するまちづくり

- 腹赤小学校区は、中央部の災害リスクの低いエリアに居住が集積しており、沿岸部には工業団地が形成されている地域です。世代を越えた交流により、地域コミュニティを維持し、災害リスクの少ない地域として安全・安心な居住環境を提供するまちづくりを進めます。

## (3) 地域づくりの方針

### ①土地利用の方針

- 国道 501 号沿道は、交通利便性を活かした施設や地域の生活利便性に資する沿道型土地利用の促進を図るため、用途地域の指定に向け取り組みます。
- 腹赤小学校を中心に一定の人口集積が見られる地域を居住エリアとして、周辺環境との調和に配慮しつつ、安全に安心して暮らせる良好な住宅地の形成を図ります。
- 中学校の統合に伴う市街化進行を見据え、既存用途地域に隣接する地域において、用途地域や特定用途制限地域の指定に向け取り組みます。
- 有明海沿岸の既成住宅地をゆとり居住エリアとして、空き家対策や狭あい道路の改善、オープンスペースの確保などにより、災害リスク等に配慮した良好な住環境の形成に努めます。
- 名石浜工業団地は、操業環境の向上と産業の高度化を支援するとともに、交通基盤の整備による産業立地の計画的な誘導を図ります。
- 大手半導体製造企業の熊本進出に伴う関連企業の新規立地を見据え、交通基盤の整備による立地優位性を活かした企業誘致の促進を図るため、地域内西側の既存用途地域（工業系）に隣接する地域において、用途地域の指定や農村地域への産業の導入の促進等に関する法律等を活用し、産業用地の確保に努めます。
- 地域内に広がる優良農地は、豊富な緑、貴重な景観要素として、保全による機能維持を図るとともに、農地の大区画化や担い手への農地集積・集約化等の取り組みを進めます。

### ②道路・交通体系の方針

- 都市計画道路赤田上沖洲線は、南関インターチェンジまでの交通アクセスを高め、産業の発展や地域活性化などの効果が期待される道路であり、早期整備を推進します。
- 都市計画道路長洲岱明線は、都市計画道路赤田上沖洲線と接続することで、中心拠点からの交通ネットワークの強化が図られることから、早期整備に向け効率的かつ効果的な道路整備を推進します。
- 生活道路については、狭あい道路の解消や必要な道路の機能向上を図ります。
- 通学路交通安全プログラムに基づくカラー舗装や歩道の設置等により、誰もが安全・快適に移動できる道路空間の確保、バリアフリー化を推進します。
- 地域公共交通計画に基づき、地域公共交通の維持・改善に努めます。

### ③公園・緑地の方針

- 防災性を高めるオープンスペースや地域の憩いの場として、安心して利用できるよう公園長寿命化計画に基づき、施設の適正な維持管理に努めます。
- 総合スポーツセンターは、町民のスポーツ活動推進の場として、健康増進に資する運動関連施設等の環境整備と機能充実に努めます。

### ④その他施設の方針

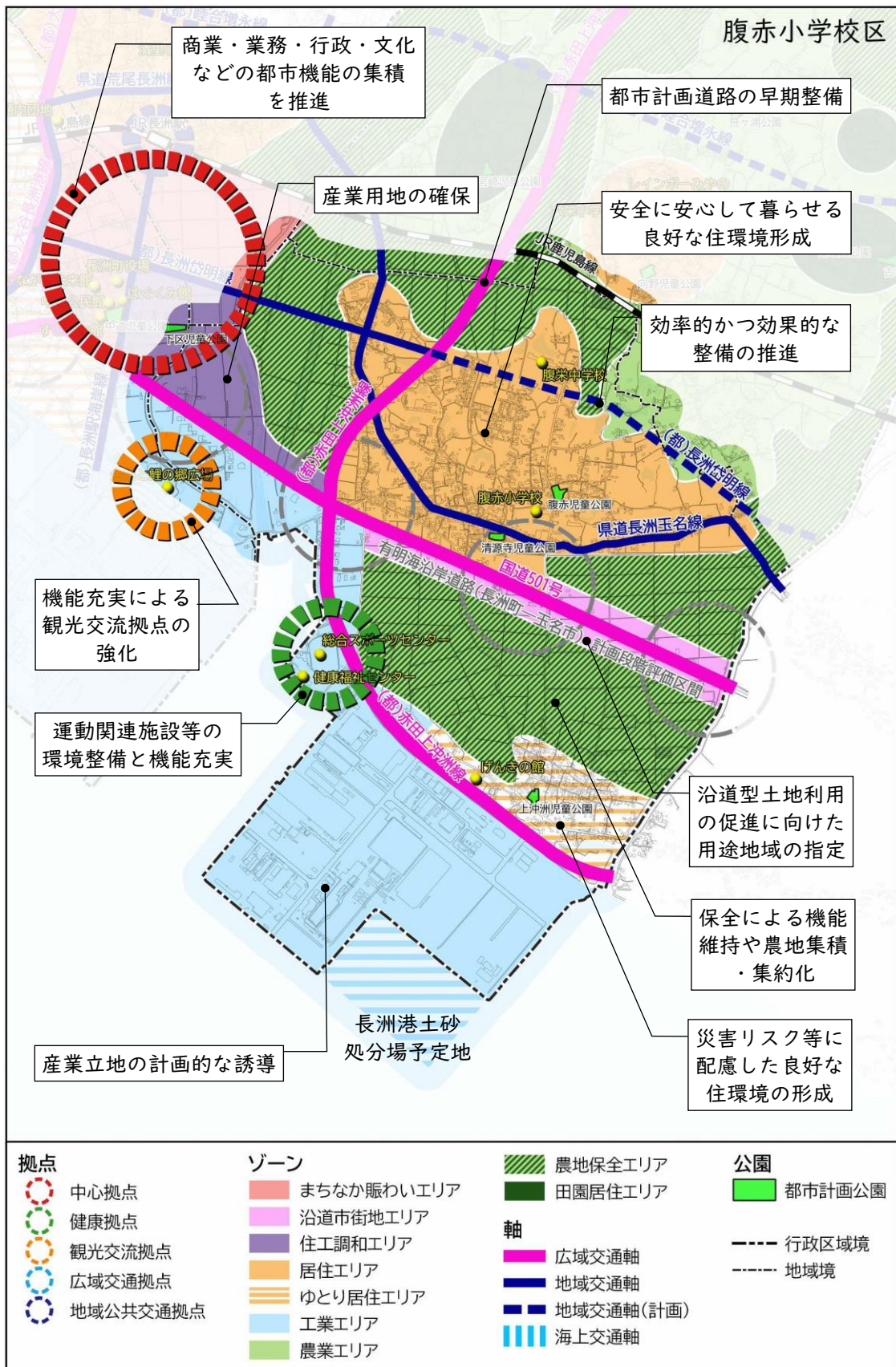
- 健康福祉センターは、必要に応じて補修等を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、施設利用者の状況や財政状況を踏まえ、施設の更新や大規模改修、他施設との統合等を推進します。
- 高齢者支援施設「げんきの館」は、介護予防の拠点として、魅力的なサービスの提供および施設の維持管理に努めます。
- 町営住宅平原団地跡地の有効活用を図ります。
- クリーンパークファイブは、ごみの適正処理を安定的に継続することを通じて、将来にわたって快適で衛生的に暮らせるよう環境負荷の低減等に配慮した計画的なごみ処理施設の更新を推進します。

### ⑤防災・防犯の方針

- 防災士の育成や防災教育、避難支援体制の強化、防災訓練の実施により、地域防災力の向上を図ります。
- 防犯灯、防犯カメラの設置促進および既設機器の維持管理を図ります。

### ⑥都市環境・景観の方針

- 地域の南・北側に広がる緑豊かな田園風景の保全に努めます。
- 海辺環境と工場集積を活かした特徴的な産業景観の維持・保全に努めます。



## 5-2. 六栄小学校区

### (1) 地域の概況

#### ①位置・構成

- 本地域は、町の北東部に位置し、南側は住宅街、北側は山林や農地が広がっており、全域が用途地域外となっています。



#### ②人口

- 令和5年3月時点での人口は4,992人となり、町全体(15,414人)の32.4%を占めています。また、高齢者(65歳以上)の割合は36.1%となっています。

#### ③土地利用

- 本地域の北側は、山林や農地が広がり、地域内に集落が点在する形で形成されており、都市的土地利用が31.4%、自然的土地利用が68.6%となっています。

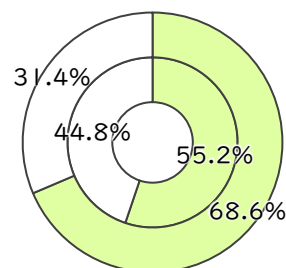
【人口など】

	人口 (人)	世帯 (世帯)	1世帯人数 (人/世帯)	高齢化率 (%)
平成31年	5,119	2,268	2.26	33.4
令和2年	5,160	2,331	2.21	34.1
令和3年	5,139	2,363	2.17	34.4
令和4年	4,998	2,293	2.18	36
令和5年	4,992	2,329	2.14	36.1

出典：長洲町住民基本台帳（各年3月末日時点）、都市計画基礎調査（令和4年）

【土地利用（令和4年）】

内側：町全域 外側：地域



■ 自然的土地利用  
□ 都市的土地利用

#### ④都市施設の整備状況

- 地域を縦断する都市計画道路赤田上沖洲線の整備が進められていますが、地域を横断する都市計画道路睦合増永線は未整備となっています。
- 都市計画公園は、古城公園や笹ヶ浦公園をはじめ多くの公園が整備されています。また、その他の公園として一先宮公園が整備されています。



⑤地域資源など

- 中央部のレインボーみやのは、大規模な地域優良賃貸住宅であり、良好な住環境が形成されています。
- 関文書、折地のカイカイ人形、六栄小ケヤキが町の指定文化財となっています。



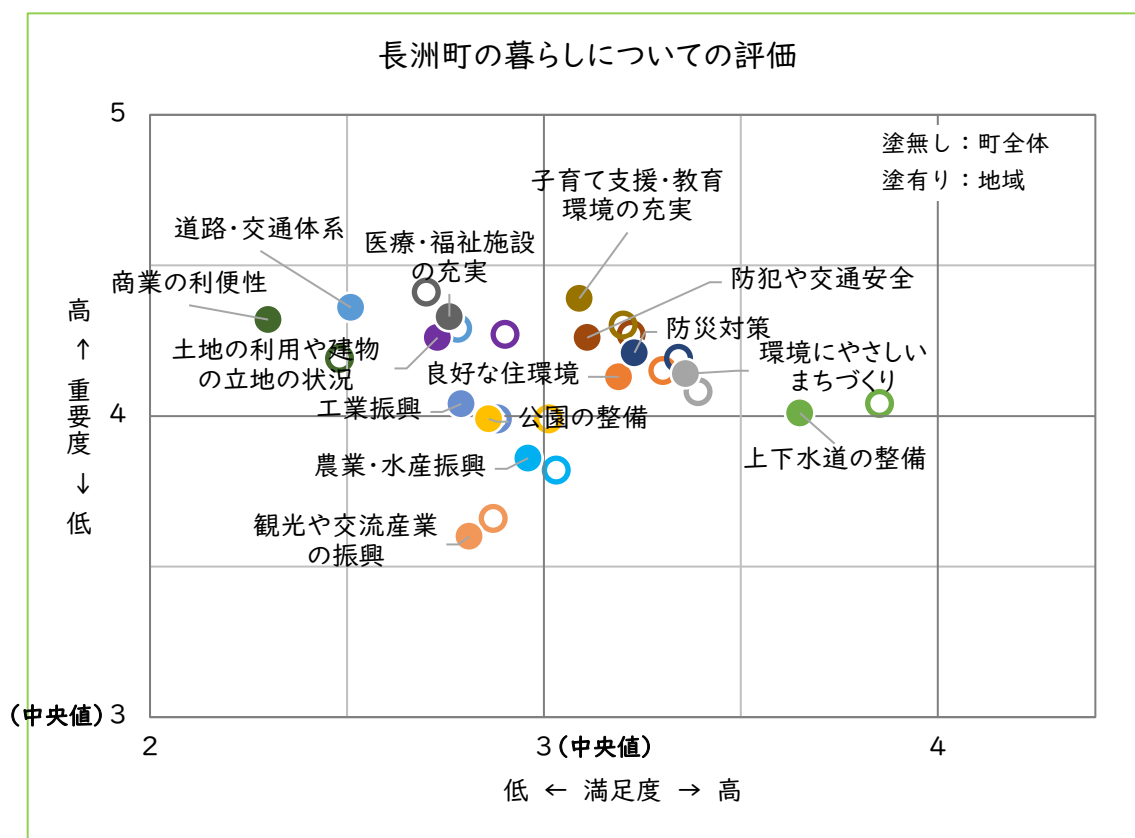
レインボーみやの



整備が進む都市計画道路赤田上沖洲線

⑥住民意向

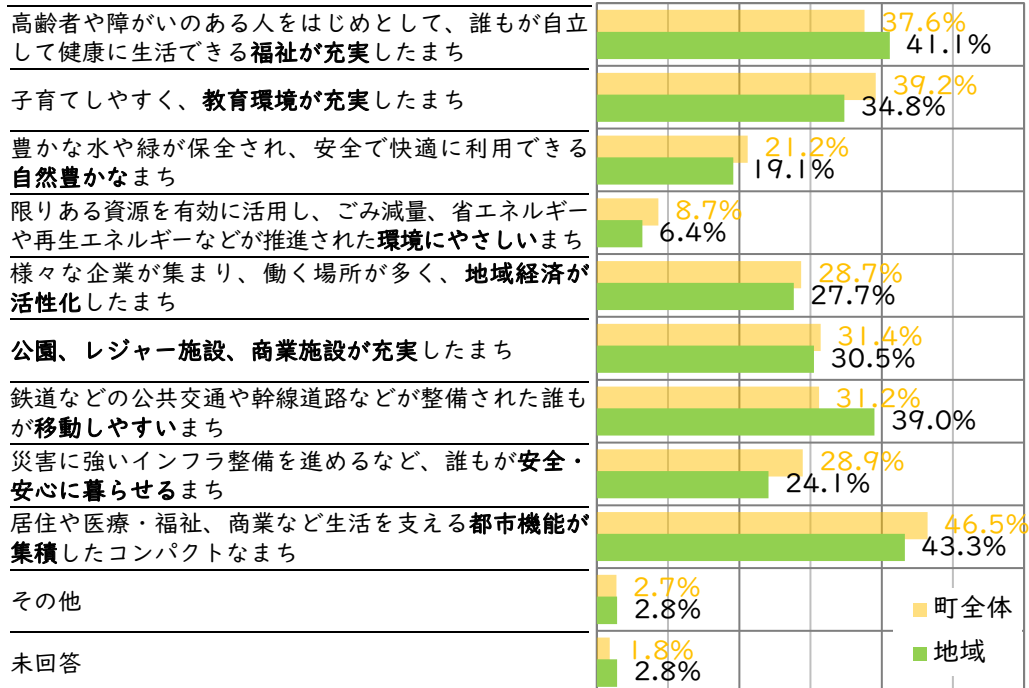
《アンケート調査》



- 六栄小学校区では、全体的に満足度が低くなっています。
- 「商業の利便性」「道路・交通体系」「土地の利用や建物の立地の状況」「医療・福祉施設の充実」が、満足度が低く、重要度の高い項目になっています。

## 将来像(20年後)として望ましいイメージ(3つ以内で選択)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



- 六栄小学校区では、「居住や医療・福祉、商業など生活を支える都市機能が集積したコンパクトなまち」が最も多く、次いで「高齢者や障がいのある人をはじめとして、誰もが自立して健康に生活できる福祉が充実したまち」「鉄道などの公共交通や幹線道路などが整備された誰もが移動しやすいまち」の順に多くなっています。

## 《地域別ワークショップ》(主なご意見)

### 地域の魅力と課題

#### 魅力

- ・子育て世帯に優しい
- ・土地が安い
- ・自然が豊か
- ・水害や大きな災害が少ない
- ・信号、渋滞が少ない
- ・公民館にWi-Fiがある

#### 課題

- ・道が狭い
- ・病院、整形外科がない
- ・公役の範囲が広すぎる
- ・車がないと不便
- ・子どもが少ない
- ・夜間に道が暗い
- ・店が少ない

### 地域が目指すまちづくり像

#### 快適な生活 豊かな自然 地域交流で育むつながり

- ・地域福祉センターの日常的な利用を可能とする機能向上、中高生が集まれる場づくりが望ましい。
- ・地域にある豊かな自然は、地域住民による維持管理できれいにする。
- ・自分たちの努力や行政の協力により、周辺にある機能や施設の利便性を高めて住みやすい地域としていくことが重要。

## (2) 地域づくりの目標

### 地域間交流により暮らしの輪が広がり 自然豊かで快適な生活が送れるまちづくり

- 六栄小学校区は、河川沿いに優良農地が広がり、北側には山林を有する自然豊かな地域です。骨格道路の整備による移動性の向上や地域間交流が活発に行われることで、住みよいまちづくりを進めます。

## (3) 地域づくりの方針

### ①土地利用の方針

- 六栄小学校を中心に一定の人口集積が見られる地域を居住エリアとして、周辺環境との調和に配慮しつつ、安全に安心して暮らせる良好な住宅地の形成を図ります。また、将来的な用途地域の指定に向け取り組みます。
- 地域内に点在する既存集落については、自然・田園環境に育まれる住環境の維持・増進に努めます。
- 地域内に広がる優良農地や山林等は、豊富な緑、貴重な景観要素として、保全による機能維持を図るとともに、農地の大区画化や担い手への農地集積・集約化等の取り組みを進めます。
- 整備が進められている都市計画道路赤田上沖洲線に沿って連担する農振白地については、周辺の自然・田園環境や住環境に配慮しつつ、必要な沿道施設の立地・誘導を図ります。

### ②道路・交通体系の方針

- 都市計画道路赤田上沖洲線は、南関インターチェンジまでの交通アクセスを高め、産業の発展や地域活性化などの効果が期待される道路であり、早期整備を推進します。
- 未整備となっている都市計画道路睦合増永線は、都市計画の見直しを含め、効率的かつ効果的な整備を推進します。
- 生活道路については、狭あい道路の解消や必要な道路の機能向上を図ります。
- 通学路交通安全プログラムに基づくカラー舗装や歩道の設置等により、誰もが安全・快適に移動できる道路空間の確保、バリアフリー化を推進します。
- 地域公共交通計画に基づき、地域公共交通の維持・改善に努めます。

### ③公園・緑地の方針

- 防災性を高めるオープンスペースや地域の憩いの場として、安心して利用できるよう公園長寿命化計画に基づき、施設の適正な維持管理に努めます。

### ④その他施設の方針

- 地域福祉センターは、社会情勢や施設周辺環境の変化、現状におけるニーズ等を踏まえ、施設の有効活用を図ります。
- 地域優良賃貸住宅「レインボーみやの」については、適正な維持管理により、子育て世帯を中心とした快適な住まい環境の提供に努めます。

## ⑤防災・防犯の方針

- 防災士の育成や防災教育、防災訓練の実施により、地域防災力の向上を図ります。
- 防犯灯、防犯カメラの設置促進および既設機器の維持管理を図ります。

## ⑥都市環境・景観の方針

- 山林や河川沿いに広がる緑豊かな自然景観・田園風景の保全に努めます。



## 5-3. 清里小学校区

### (1) 地域の現況

#### ①位置・構成

- 本地域は、町の北西部に位置し、町の玄関口として JR 長洲駅があり、その北側に住宅地、南側に農地が広がっています。



#### ②人口

- 令和5年3月時点での人口は1,796人となり、町全体(15,414人)の11.7%を占めています。また、高齢者(65歳以上)の割合は34.1%となり、他の地域と比べて最も低い割合となっています。

#### ③土地利用

- JR長洲駅周辺は、商業用地や住宅用地で市街地が形成されています。地域の南・北側には農地などが集積しており、都市的土地利用が52.6%、自然的土地利用が47.4%となっています。

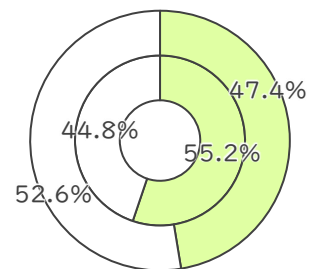
【人口など】

	人口 (人)	世帯 (世帯)	1世帯人数 (人/世帯)	高齢化率 (%)
平成31年	1,747	718	2.43	34.6
令和2年	1,754	727	2.41	35.0
令和3年	1,762	737	2.39	34.7
令和4年	1,777	744	2.39	34.5
令和5年	1,796	775	2.32	34.1

出典：長洲町住民基本台帳(各年3月末日時点)、都市計画基礎調査(令和4年)

【土地利用(令和4年)】

内側：町全域 外側：地域



■ 自然的土地利用  
□ 都市的土地利用

#### ④都市施設の整備状況

- 主要な道路として、地域の西側を縦断する都市計画道路大谷長洲港線と地域を横断する県道荒尾長洲線が通っています。また、都市計画道路大谷長洲港線や JR 長洲駅から南に向かう都市計画道路長洲駅海岸線は整備済ですが、都市計画道路睦合増永線は未整備となっています。
- 都市計画公園は、梅田児童公園や清里児童公園が整備されています。また、その他の公園として建浜農村公園が整備されています。

⑤地域資源など

- 長洲町は、全国でも有数の金魚の産地であり、JR 長洲駅には金魚のオブジェがあります。
- 二宮八幡宮の鰐口と梅田天満宮の玉藤群が町の指定文化財となっています。



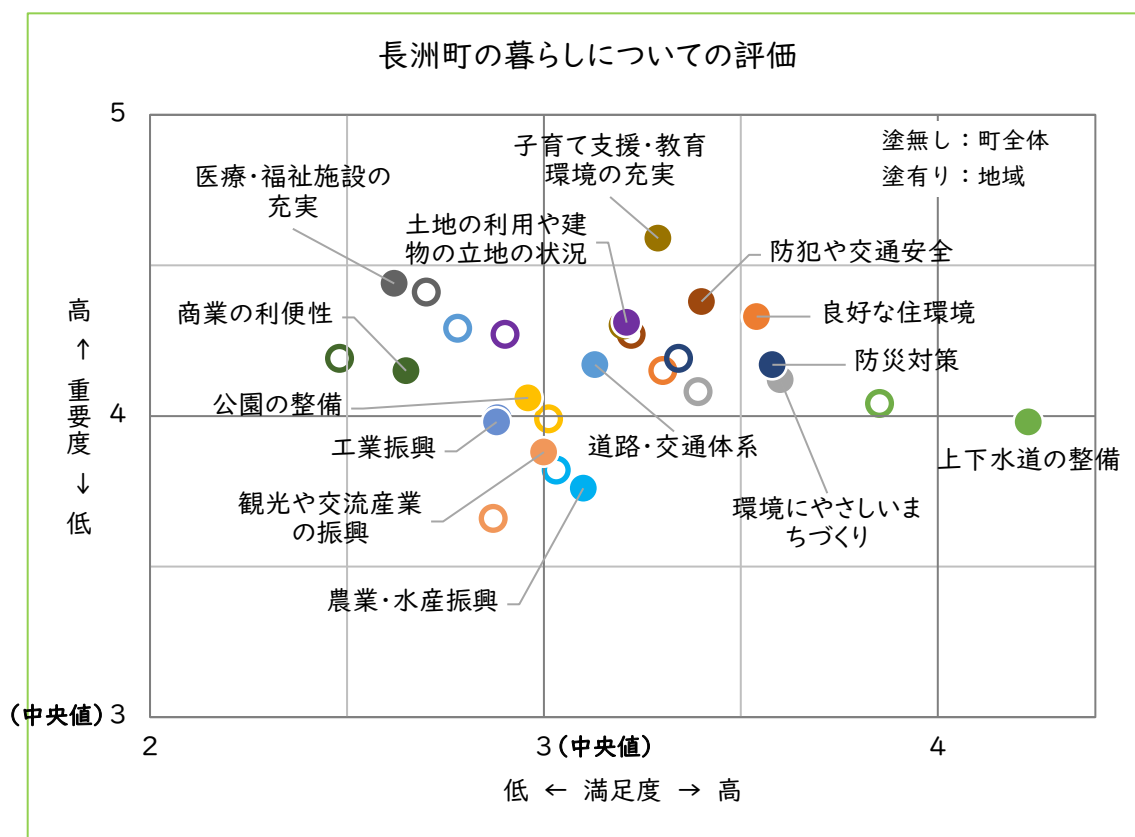
金魚のオブジェ (JR 長洲駅)



高浜団地

⑥住民意向

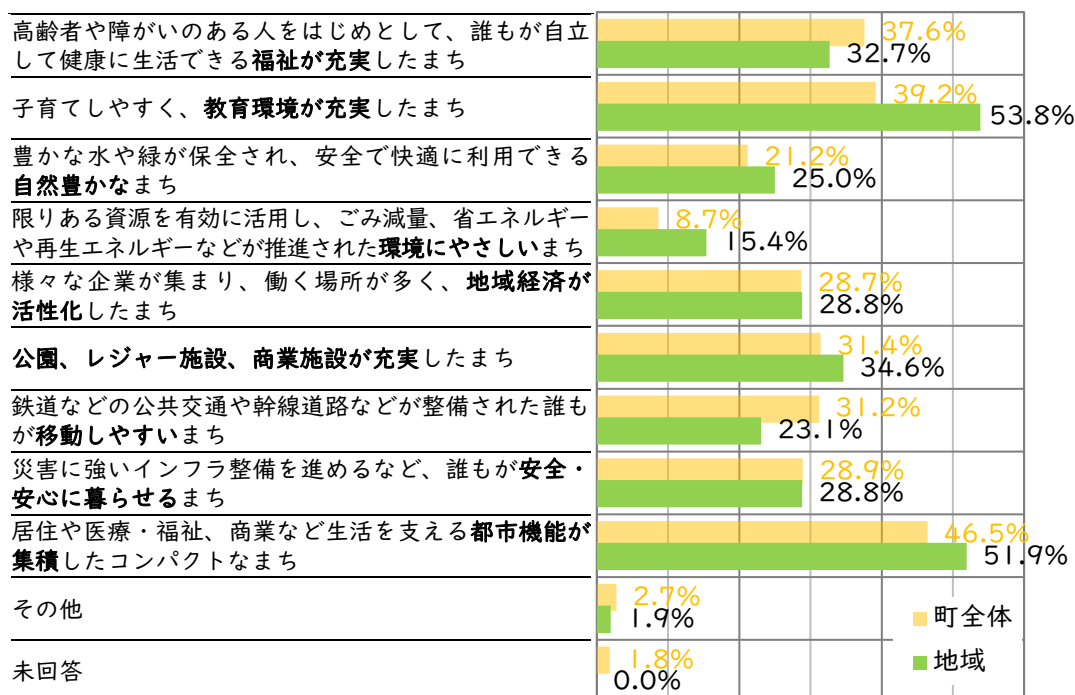
《アンケート調査》



- 清里小学校区では、全体的に満足度が高くなっており、特に「上下水道の整備」「道路・交通体系」「土地の利用や建物の立地の状況」の満足度が他の地域に比べて高くなっています。
- 「医療・福祉施設の充実」「公園の整備」が町全体よりも満足度が低く、重要度の高い項目になっています。

### 将来像(20年後)として望ましいイメージ(3つ以内で選択)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



- 清里小学校区では、「子育てしやすく、教育環境が充実したまち」が最も多く、次いで「居住や医療・福祉、商業など生活を支える都市機能が集積したコンパクトなまち」「公園、レジャー施設、商業施設が充実したまち」の順に多くなっています。

### 《地域別ワークショップ》(主なご意見)

#### 地域の魅力と課題

##### 魅力

- ・ 静か
- ・ 自然がある、豊か
- ・ 水害に強い
- ・ 駅が近い
- ・ 地域の人との関わり
- ・ 子育てしやすい

##### 課題

- ・ 道が狭い
- ・ 人が少ない
- ・ 店、飲食店が少ない
- ・ 遊べる場所があまりない
- ・ 交通の便が悪い

#### 地域が目指すまちづくり像

##### にぎわい ふれあい きょうどあい

- ・ JR 長洲駅は、町の玄関口であることから、駅周辺開発により、賑わいを創出していくことで様々な波及効果が期待できる。
- ・ 町の玄関口として人が集まる「長洲駅」人が集まり世代間交流によって人とつながる場所となる「祭り」子どもたちが育つ「小学校」これらを大事にしていくことで、郷土愛を育てていくことが重要。



## (2) 地域づくりの目標

### 長洲町の顔として

#### 賑わい ふれあい 郷土愛 あふれるまちづくり

- 清里小学校区は、町の玄関口となる JR 長洲駅があり、災害リスクの低い駅北側に居住地が形成されている地域です。町の産業発展と地域活性化に向けて、駅南側一帯の市街地整備に取り組むことで、町の顔となるまちづくりを進めます。

## (3) 地域づくりの方針

### ①土地利用の方針

- JR 長洲駅南側一帯は、町の顔として快適な生活環境の確保に向けた都市基盤の整備を進めます。
- JR 長洲駅南側から長洲町役場を中心とした地域を中心拠点として、商業・業務・行政・文化などの都市機能の集積を図ります。
- 中心拠点としての土地利用を適切に規制・誘導するため、JR 長洲駅南側において用途地域などの地域地区の指定に向けて積極的に取り組みます。また、必要に応じて特別用途地区や優良田園住宅制度の活用を図ります。
- JR 長洲駅周辺は、居住エリアとして、周辺環境との調和に配慮しつつ、安全に安心して暮らせる良好な住宅地の形成を図ります。
- 大手半導体製造企業の熊本進出に伴う関連企業の新規立地を見据え、交通基盤の整備による立地優位性を活かした企業誘致の促進を図るため、地域内南側の既存用途地域（工業系）に隣接する地域において、用途地域の指定や農村地域への産業の導入の促進等に関する法律等を活用し、産業用地の確保に努めます。
- 地域内に広がる優良農地は、豊富な緑、貴重な景観要素として、保全による機能維持を図るとともに、農地の大区画化や担い手への農地集積・集約化等の取り組みを進めます。

### ②道路・交通体系の方針

- JR 長洲駅の安全・安心な利用に向け、JR 九州などの関係機関との協議を行い、駅のバリアフリー化や地域公共交通結節点としての機能強化を図ります。また、駅周辺の都市基盤の整備により、JR 長洲駅の利用促進を図り、賑わいのあるまちづくりを進めます。
- 未整備となっている都市計画道路睦合増永線は、都市計画の見直しを含め、効率的かつ効果的な整備を推進します。
- 生活道路については、狭あい道路の解消や必要な道路の機能向上を図ります。
- 通学路交通安全プログラムに基づくカラー舗装や歩道の設置等により、誰もが安全・快適に移動できる道路空間の確保、バリアフリー化を推進します。
- 地域公共交通計画に基づき、地域公共交通の維持・改善に努めます。

### ③公園・緑地の方針

- 防災性を高めるオープンスペースや地域の憩いの場として、安心して利用できるよう公園長寿命化計画に基づき、施設の適正な維持管理に努めます。

#### ④その他施設の方針

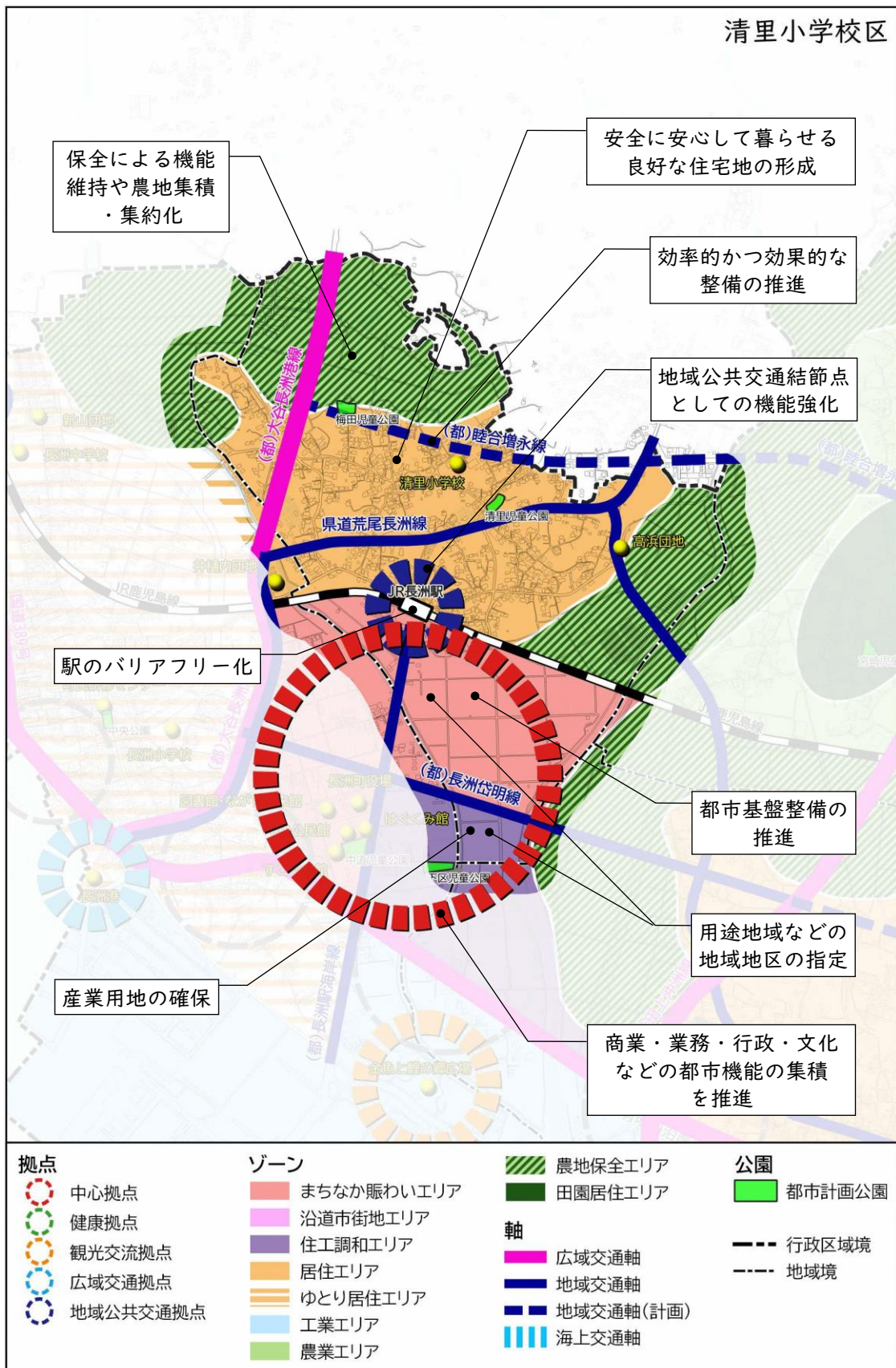
- 町営住宅高浜団地は、町営住宅長寿命化計画に基づき、安全で快適な住環境の提供および施設の適正な維持管理に努めます。

#### ⑤防災・防犯の方針

- 防災士の育成や防災教育、防災訓練の実施により、地域防災力の向上を図ります。
- 防犯灯、防犯カメラの設置促進および既設機器の維持管理を図ります。

#### ⑥都市環境・景観の方針

- 地域の北側に広がる緑豊かな田園風景の保全に努めます。
- JR 長洲駅周辺の街の活性化と町の玄関口にふさわしい景観向上に努めます。



## 5-4. 長洲小学校区

### (1) 地域の現況

#### ①位置・構成

- 本地域は、町の西部に位置し、長崎県と熊本県を結ぶ海の玄関口として長洲港があり、長洲小学校を中心に市街地が広がっています。沿岸部には造船所をはじめ多くの工場が立地しています。



#### ②人口

- 令和5年3月時点での人口は4,875人となり、町全体(15,414人)の31.6%を占めています。また、高齢者(65歳以上)の割合は39.3%となり、他の地域と比べて最も高い割合となっています。

#### ③土地利用

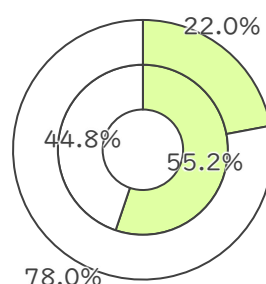
- 長洲小学校を中心に商業用地や住宅用地で市街地が形成され、長洲町役場周辺には公共施設が集積しています。地域の南側の沿岸部には工業用地が集積しており、都市的土地利用が78.0%、自然的土地利用が22.0%となっています。

【人口など】

	人口 (人)	世帯 (世帯)	1世帯人数 (人/世帯)	高齢化率 (%)
平成31年	5,163	2,360	2.19	37.3
令和2年	5,100	2,387	2.14	38.3
令和3年	5,054	2,408	2.10	38.8
令和4年	4,935	2,385	2.07	39.7
令和5年	4,875	2,407	2.03	39.3

【土地利用(令和4年)】

内側：町全域 外側：地域



■ 自然的土地利用  
□ 都市的土地利用

出典：長洲町住民基本台帳(各年3月末日時点)、都市計画基礎調査(令和4年)

#### ④都市施設の整備状況

- 都市計画道路長洲玉名線(国道501号)や大谷長洲港線、長洲駅海岸線、長洲岱明線など多くの都市計画道路が通っており、整備済となっています。また、地域の西側を縦断する有明海沿岸道路(荒尾長洲線)が都市計画決定しており、早期整備が望まれています。
- 都市計画公園は、中央公園と中道児童公園が整備されていますが、下区児童公園は未整備となっています。また、その他の公園として金魚と鯉の郷広場やみなと憩い広場など沿岸部や地域内に公園・広場が整備されています。

⑤地域資源など

- 金魚と鯉の郷広場は、広大な3つの芝生広場を有する自然公園で、敷地内には数多くの金魚が展示されている金魚の館や大型複合遊具などがあり、週末には多くの家族連れが訪れる町の観光交流施設となっています。また、造船所のゴライアスクリーンは、特徴的な景観資源として、町のランドマークとなっています。
- 新塘、破魔弓祭（的ばかい）など9つの有形、無形文化財が町の指定文化財となっています。



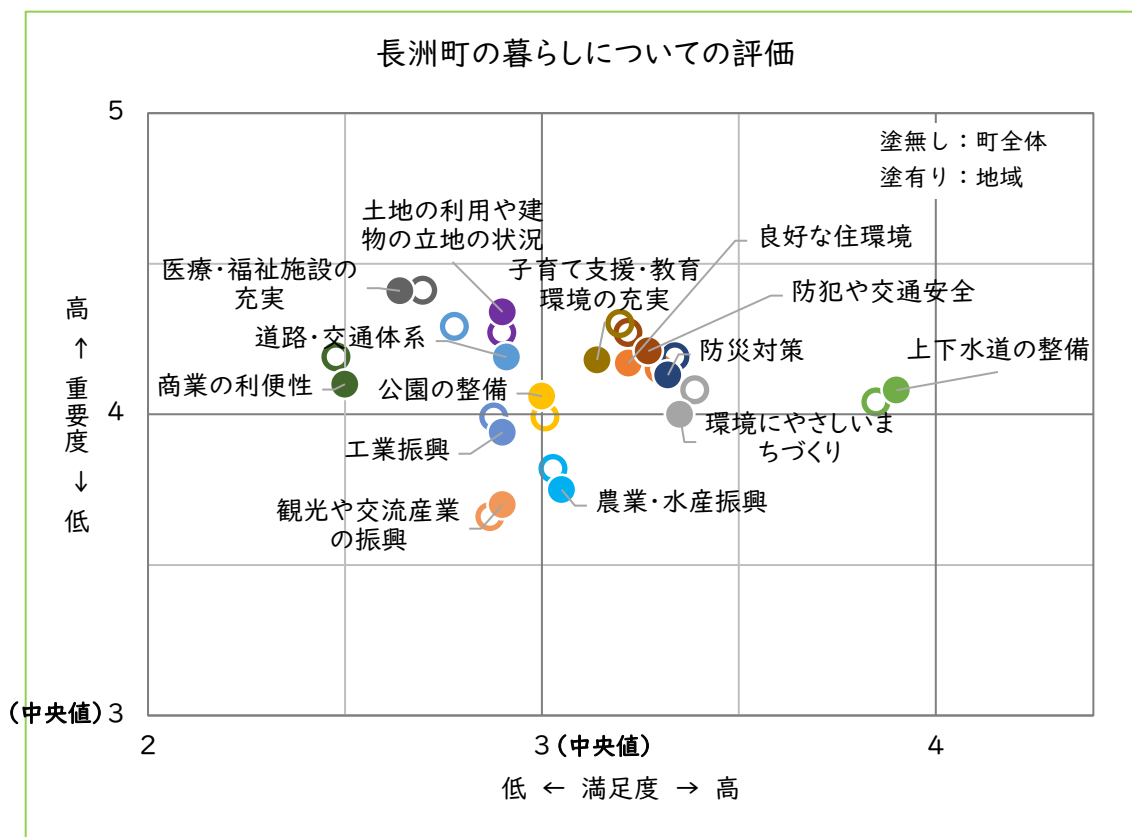
金魚と鯉の郷広場



長洲港・有明フェリー

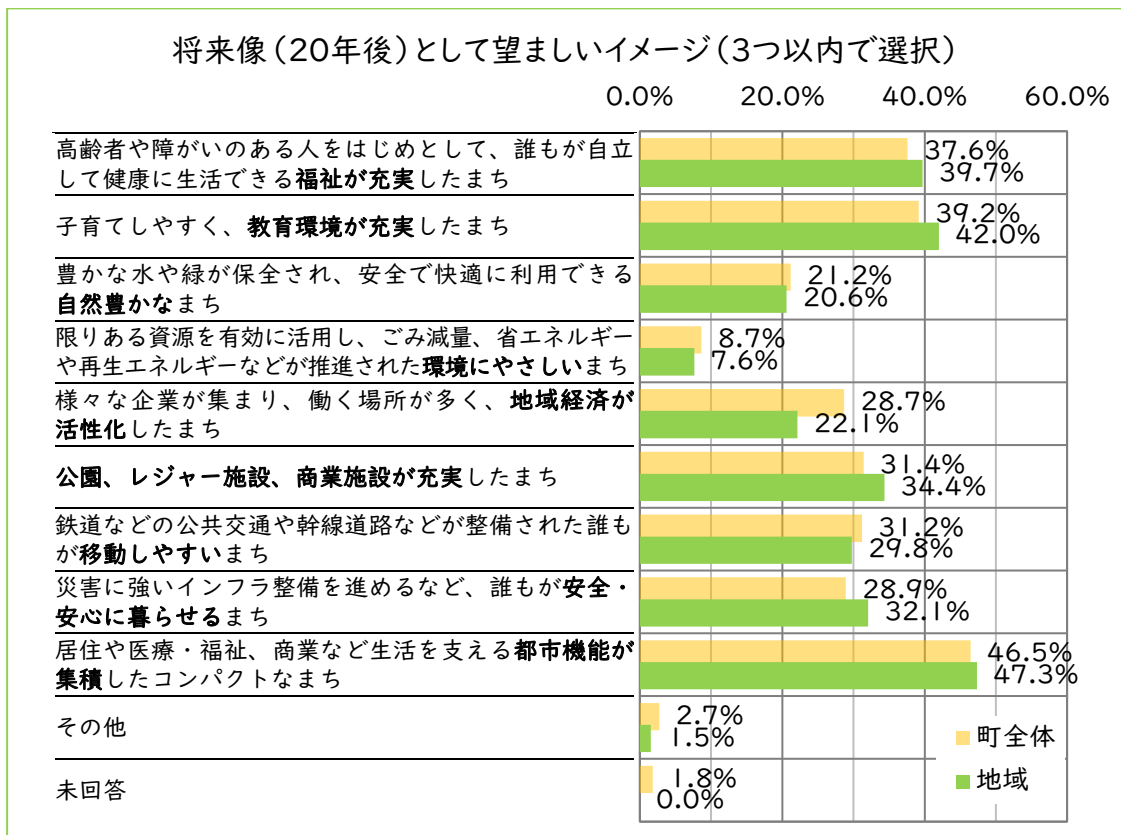
⑥住民意向

《アンケート調査》



- 長洲小学校区では、「上下水道の整備」「環境にやさしいまちづくり」「防災対策」「防犯や交通安全」「良好な住環境」「子育て支援・教育環境の充実」が、現状で不満ではない項目になっています。
- 「商業の利便性」「医療・福祉施設の充実」「土地の利用や建物の立地の状況」「道路・

交通体系」が、満足度が低く、重要度の高い項目になっています。



- 長洲小学校区では、「居住や医療・福祉、商業など生活を支える都市機能が集積したコンパクトなまち」が最も多く、次いで「子育てしやすく、教育環境が充実したまち」「高齢者や障がいのある人をはじめとして、誰もが自立して健康に生活できる福祉が充実したまち」の順に多くなっています。

### 《地域別ワークショップ》(主なご意見)

地域の魅力と課題

**魅力**

- ・自然が豊か
- ・工場がたくさんある
- ・イベントや祭りがたくさんある
- ・県外等へアクセスしやすい
- ・スポーツ施設が充実

**課題**

- ・道が狭い
- ・空き家、空き地の増加
- ・子どもが少ない
- ・車がないと不便
- ・公園、遊び場が少ない
- ・駅周辺の商業施設が少ない

地域が目指すまちづくり像

**つながる町    ホウレンソウが育つ町**

- ・空き家や空き地の活用、交通サービスの充実、外国人との交流による相互理解などが重要。
- ・自由に意見を出し合え、人やモノがつながるまちが望ましく、つながるためには相手を良く知ることが肝要であり、そのためには、まずは自分のことを伝えることが必要なため、報告、連絡、相談できる環境を育てていくことが重要。

## (2) 地域づくりの目標

### 多種多様な人、もの、ことつながりによる 相乗効果で魅力あるまちづくり

- 長洲小学校区は、長洲町役場や中央公民館などの行政機能、海の玄関口となる長洲港、観光交流拠点となる金魚と鯉の郷広場があり、旧長洲町からの市街地と有明臨海工業地帯を有する地域です。多種多様な人、もの、ことつながりによる相乗効果を生み出し、地域の魅力を引き出すまちづくりを進めます。

## (3) 地域づくりの方針

### ①土地利用の方針

- JR 長洲駅南側一帯は、町の顔として快適な生活環境の確保に向けた都市基盤の整備を進めます。
- JR 長洲駅南側から長洲町役場を中心とした地域を中心拠点として、商業・業務・行政・文化などの都市機能の集積を図ります。
- 中心拠点としての土地利用を適切に規制・誘導するため、JR 長洲駅南側において用途地域などの地域地区の指定に向けて積極的に取り組みます。また、必要に応じて特別用途地区や優良田園住宅制度の活用を図ります。
- JR 長洲駅周辺は、居住エリアとして、周辺環境との調和に配慮しつつ、安全に安心して暮らせる良好な住宅地の形成を図ります。
- 有明海沿岸の既成住宅地をゆとり居住エリアとして、空き家対策や狭あい道路の改善、オープンスペースの確保などにより、災害リスク等に配慮した良好な住環境の形成に努めます。
- 有明臨海工業地帯は、操業環境の向上と産業の高度化を支援します。また、大手半導体製造企業の熊本進出に伴う関連企業の新規立地を見据え、交通基盤の整備による立地優位性を活かした企業誘致の促進を図るため、既存用途地域（工業系）に隣接する地域において、用途地域の指定や農村地域への産業の導入の促進等に関する法律等を活用し、産業用地の確保に努めます。
- 地域内に広がる優良農地は、豊富な緑、貴重な景観要素として、保全による機能維持を図るとともに、農地の大区画化や担い手への農地集積・集約化等の取り組みを進めます。

### ②道路・交通体系の方針

- 有明海沿岸道路（荒尾長洲線）は、広域物流ネットワークの強化による産業の発展や地域活性化などの効果が期待される道路であり、早期整備を推進します。
- JR 長洲駅の安全・安心な利用に向け、JR 九州などの関係機関との協議を行い、駅のバリアフリー化や地域公共交通結節点としての機能強化を図ります。また、駅周辺の都市基盤の整備により、JR 長洲駅の利用促進を図り、賑わいのあるまちづくりを進めます。
- 長洲港周辺の環境整備や港湾施設の機能向上などによる広域交通拠点としての機能強化を図ります。また、JR 長洲駅との交通ネットワークの連携・強化を図ります。
- 生活道路については、狭あい道路の解消や必要な道路の機能向上を図ります。

- 通学路交通安全プログラムに基づくカラー舗装や歩道の設置等により、誰もが安全・快適に移動できる道路空間の確保、バリアフリー化を推進します。
- 地域公共交通計画に基づき、地域公共交通の維持・改善に努めます。

### ③公園・緑地の方針

- 防災性を高めるオープンスペースや地域の憩いの場として、安心して利用できるよう公園長寿命化計画に基づき、施設の適正な維持管理に努めます。
- 金魚と鯉の郷広場は、観光交流拠点として、情報発信の充実や施設内の環境整備と機能充実に努めます。

### ④その他施設の方針

- 町営住宅（新山団地、井樋内団地）は、町営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な改善事業を実施し、安全で快適な住環境の提供および施設の適正な維持管理に努めます。
- 長洲中学校と腹栄中学校の統合に伴い、旧長洲中学校については、町の活性化に資する跡地活用を図ります。

### ⑤防災・防犯の方針

- 防災士の育成や防災教育、避難支援体制の強化、防災訓練の実施により、地域防災力の向上を図ります。
- 防犯灯、防犯カメラの設置促進および既設機器の維持管理を図ります。

### ⑥都市環境・景観の方針

- 海辺環境と工場集積を活かした特徴的な産業景観の維持・保全に努めます。
- JR 長洲駅、長洲港周辺の街の活性化と町の玄関口にふさわしい景観向上に努めます。
- 有明海に広がる干潟が形成する優れた自然景観の保全に努めます。



